

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

サンド調高意匠仕上塗材

JIKITONE **SHELL**
SAND™

施工要領書

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

JIKITONE SHELL SAND™

施工要領書

特長	2
適用下地	2
荷姿	2
各種模様／施工道具	2
パターン一覧	3
塗装器具	3
各仕様共通項	4、5
塗装の準備	
共通施工仕様（下塗り）	

模様付け

■ ラフ仕上げ	6
■ ラウンドラフ仕上げ	7
■ トラバーチン仕上げ	8
■ ラージクシライン仕上げ	9
■ ブラシライン仕上げ	10
■ トレイルライン仕上げ	11
■ サンドストーム仕上げ	12
■ ランダムラフ仕上げ	13
■ トラバーチンローラー仕上げ	14

特 長

1. 意 匠 性 幅広い意匠の演出が可能です。
2. 耐 久 性 高耐候シリコン樹脂を採用し、すぐれた耐久性があります。
3. 微 弾 性 ヘアークラックに追従し雨水の侵入を防ぎます。
4. 防藻性・防かび性 藻・カビの発生を防ぎます。

適用下地

新設：現場打ちコンクリート、モルタル、P C、押出成形セメント板など※

改修：石材調仕上塗材、吹付タイル、弾性タイル、アクリルリシン、その他旧塗膜

※PC面・RC面は普通コンクリートに限ります。軽量PCには塗装できませんのでご注意ください。

荷 姿

ジキトーン シェルサンド下塗材（標準16色） 16 k g

ジキトーン シェルサンド（標準36色） 20 k g

各種模様／施工道具

模様名	施工道具
ラフ	—
ラウンドラフ	ウールローラー
トラバーチン	金ゴテ
ラージクシライン	クシベラ
ブラシライン	ダスター刷毛

模様名	施工道具
トレイルライン	木ゴテ、金ゴテ
サンドストーム	金ゴテ
ランダムラフ	金ゴテ
トラバーチンローラー	模様ローラー、金ゴテ

9種類のパターンが自由な表現を可能にします。



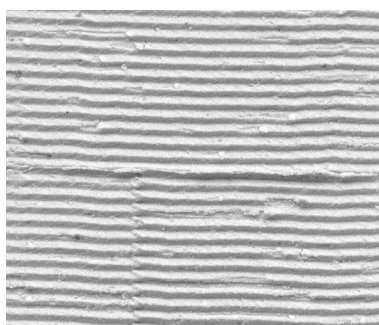
ラフ



ラウンドラフ



トラバーチン



ラージクシライン



ブラシライン



トレイルライン



サンドストーム



ランダムラフ



トラバーチンローラー

塗装器具



万能ガン



ウールローラー



金ゴテ



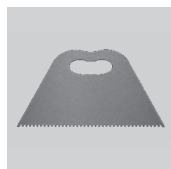
ダスター刷毛



模様ローラー



木ゴテ



クシペラ

塗装の準備

下地調整について

●新設：

1. 素地の乾燥は十分に行ってください（含水率10%以下、pH10以下）。
2. 素地に巣穴・段差などがある場合、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200）などで処理してください。
3. 下地の種類によっては、下地処理の材料と方法が異なりますので、下記の表を参考にして適切な下地処理を行ってください。
4. ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整してください。

●改修

1. 下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて塗装工事前に実施してください。
2. 旧塗膜の浮き、密着不良、剥離周辺部のぜい弱部を皮すき、ワイヤブラシ、サンドペーパーなどで旧塗膜を完全に除去してください。

区 分	下 地	下塗り①	下塗り②	備 考
新 設	コンクリート モルタル 普通PC 押出成形セメント板 スレート	水性カチオンシーラー ファイン浸透シーラー ファインパーフェクト シーラー 1液ファインパーフェ クトシーラー等	ジキトーン シェルサンド 下塗材各色	材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸い込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。
	ALC	アンダーフィラーAL アンダーフィラーS		セメント系下地調整材（ニッペ1材カチオンフィラーまたはニッペ1材フィラー#200）を使用することも可能です。その場合は処理した後、エポキシ樹脂シーラー（ファイン浸透シーラー塗装）を塗装する。動きの大きいジョイントは塗装せず露出とする。
改修面	弾性塗膜を除く各種 塗膜(*)	——		リシン等吸い込みが激しく、塗膜表層が脆弱化している場合には、エポキシ樹脂シーラー（ファイン浸透シーラー等）が必要。

※水のたまりやすい水平部（笠木、手すり、セットバッグなど）や、直接地面と接するところや土止め壁などの施工は膨れ、割れのおそれがありますので、避けてください。ブロック塀などを塗装する場合は、幅木（5cm程度の水の逃げ道）をとってください。天端は防水処理や笠木を取り付けるようにしてください。

(*)既存塗膜が弾性系塗膜の場合には、塗装すると割れが発生することがありますので、施工は避けてください。また、弾性リシンや弾性スタッコの場合には、塗装後に膨れが発生することがありますので、施工は避けてください。

共通施工仕様(下塗り)

シェルサンド下塗材について

必ず主材との組み合わせ色を使用してください。ポリウムある仕上がりを実現するため下塗材も主材色に合わせて着色しています。共色となるよう下表の組み合わせで使用してください。

上塗り色	NJSS-1 NJSS-2 NJSS-3 NJSS-4 NJSS-5	NJSS-10	NJSS-7	NJSS-33	NJSS-13	NJSS-20 NJSS-21 NJSS-23	NJSS-6 NJSS-8 NJSS-26	NJSS-11 NJSS-12 NJSS-16 NJSS-17
下塗り色	●下塗材A (N-80近似色)	●下塗材B (22-80C近似色)	●下塗材C (19-75C近似色)	●下塗材D (09-60B近似色)	●下塗材E (29-70B近似色)	●下塗材F (N-55近似色)	●下塗材G (22-85D近似色)	●下塗材H (22-50B近似色)

上塗り色	NJSS-22 NJSS-36	NJSS-19 NJSS-29	NJSS-28	NJSS-18 NJSS-24 NJSS-35	NJSS-25	NJSS-14 NJSS-15 NJSS-30 NJSS-34	NJSS-9 NJSS-27	NJSS-31 NJSS-32
下塗り色	●下塗材I (N-40近似色)	●下塗材J (07-60H近似色)	●下塗材K (07-70F近似色)	●下塗材L (45-60B近似色)	●下塗材M (75-50H近似色)	●下塗材N (15-50D近似色)	●下塗材O (19-60H近似色)	●下塗材P (15-60F近似色)

<新設>

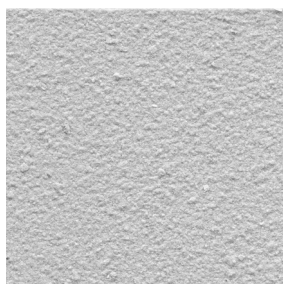
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下塗り ①	水性カチオンシーラー 透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ ウールローラー
下塗り ②	ジキトーン シェルサンド下塗材	1~2	0.30~0.60	4時間以上	水道水	3~6	はけ ウールローラー

<改修>

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下塗り	ジキトーン シェルサンド下塗材	1~2	0.30~0.60	4時間以上	水道水	3~6	はけ ウールローラー

- ・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
- ・PC面・RC面は普通コンクリートに限ります。軽量PCには塗装できませんのでご注意ください。
- ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
- ・ジキトーン シェルサンド下塗材は指定の色を使用してください。
- ・ジキトーン シェルサンド下塗材は1回塗りで下地が隠れない場合には2回塗りしてください。ジキトーン シェルサンド下塗りが透けた状態になっていると仕上がりにムラが生じることがあります。
- ・本施工前に必ず試験塗装を行い、色の承認及び模様の承認を得てから本施工を行ってください。
- ・本施工前に必ず試験塗装を行い、希釈率・使用量・色味等の確認を行い、模様が再現できるよう調整を行ってください。
- ・面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。
- ・できるだけ同一製造ロットの製品にて施工を行ってください。やむを得ず製造ロットの違う製品を使用する場合は必ず面を変えて使用してください。

ラフ仕上げ



施工道具



万能ガン

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様ご参照ください。						
下塗り							
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	24時間以上 (最終養生)	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa

■主材吹きについて

■主材塗り

- シェルサンド (20kg) に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠ぺいするように塗付してください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。

【注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
【注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ラウンドラフ仕上げ



施工道具



万能ガン



ウールローラー

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様で参照ください。						
下塗り							
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分*	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	ウールローラー(中毛)を軽く水で湿らせて、 主材塗り直後から10分以内に主材の凸部を軽く押さえてください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り

- シェルサンド(20kg)に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠ぺいするように塗付してください。

■模様付けについて

- 主材塗りの押えは、中毛のウールローラーを使用してください。ウールローラーを軽く水で湿らせて水分をよく切ってから使用してください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

トラバーチン仕上げ



施工道具



万能ガン



金ゴテ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様ご参照ください。						
下塗り							
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5 ～8.0mm 圧力:0.39 ～ 0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分※	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	左官用金ゴテで凸部を押え、虫食いパターンを作ってください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

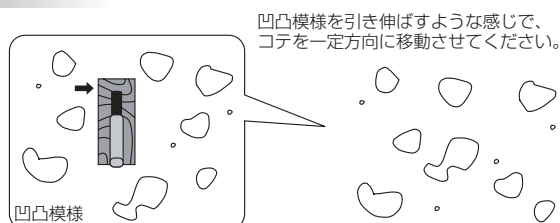
■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠ぺいするように塗付してください。

■模様付けについて

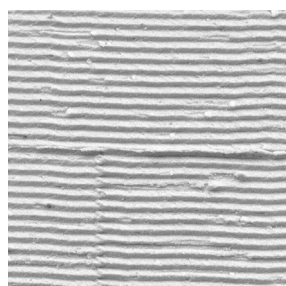
- 主材塗付け後直ち（5分程度内）に、水道水を付けた角ゴテ又は丸ゴテを用いて、全体を軽く押さえるようにコテを移動させながらパターン付けを行ってください。その際、コテは適宜水洗し、塗料が付着しないように注意してください。追いかけて施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。
- 適度な凹凸状態を保つよう、コテは、あまり強く押さえ過ぎないように注意してください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■パターン出し



【注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
【注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ラージクシライン仕上げ



施工道具



万能ガン



クシベラ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様で参照ください。						
下塗り							
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5 ～8.0mm 圧力:0.39 ～ 0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分*	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	クシベラを引いて、パターン付けをしてください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

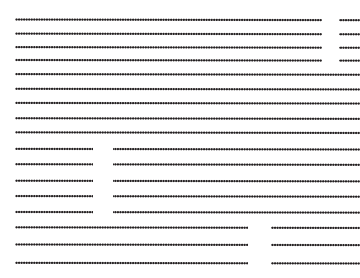
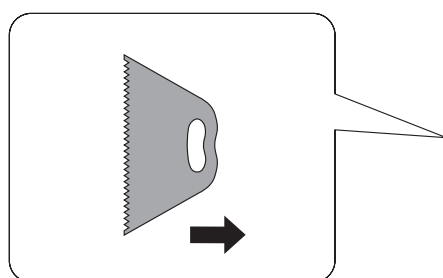
■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠れいするように塗付してください。

■模様付けについて

- クシベラは9mmピッチのものを使用し、約45°程度の傾斜をつけて引いてください。
- クシベラを引く長さは1回あたり約60cm以下を目安にしてください。長くなると歪みやすくなります。
- クシベラの継ぎはランダムになるよう調整してください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■パターン出し



ブラシライン仕上げ



施工道具



万能ガン



ダスター刷毛

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様ご参照ください。						
下塗り							
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5 ～8.0mm 圧力:0.39 ～ 0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分※	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	ダスター刷毛を引いて、パターン付けをしてください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

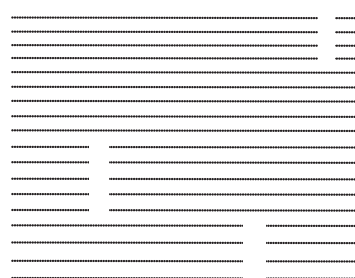
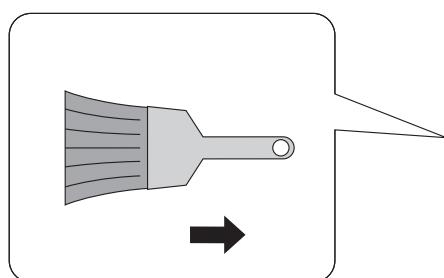
■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠れいするように塗付してください。

■模様付けについて

- ダスター刷毛を約45°程度の傾斜をつけて引いてください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■パターン出し



注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

トレイルライン仕上げ



施工道具



万能ガン



木ゴテ



金ゴテ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様で参照ください。						
下塗り							
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5 ～8.0mm 圧力:0.39 ～ 0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分*	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	木ゴテで骨材を転がして模様を付け、金ゴテで押さえてください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

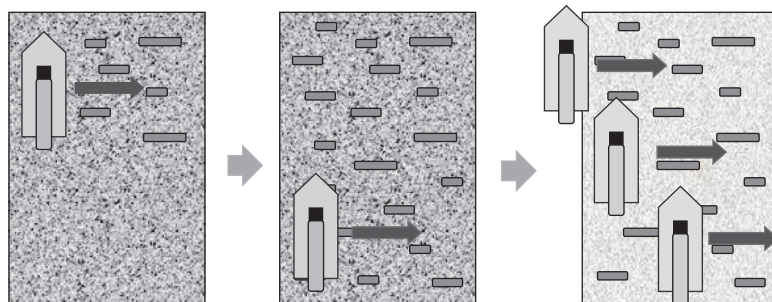
■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠れいするように塗付してください。

■模様付けについて

- 木ゴテを一定方向（横方向）に動かして横線模様を現れるようにパターン付けを行う。大きい骨材の頭を転がすようにコテを動かすとスムーズです。
- ある程度バランスよくパターン付けを行ってください。
- 金ゴテを一定方向（横方向）に動かして模様付けの際に荒れてしまった表面を軽く押さえて平らにしてください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■パターン出し



サンドストーム仕上げ



施工道具



万能ガン



金ゴテ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様ご参照ください。						
下塗り							
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5 ～8.0mm 圧力:0.39 ～ 0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分※	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	金ゴテで全面平滑、扇形に押さえてください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

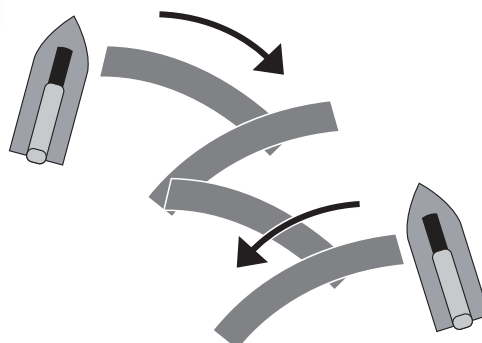
■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠ぺいするように塗付してください。

■模様付けについて

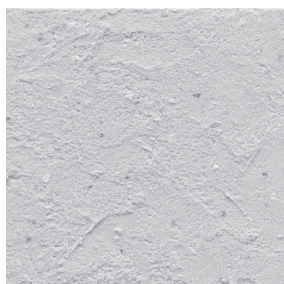
- 主材塗付後直ちに、金ゴテを用いて扇形に押さえて、コテすじ模様をつけるように、パターン付けを行ってください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■パターン出し



注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ランダムラフ仕上げ



施工道具



万能ガン



金ゴテ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整	共通施工仕様で参照ください。						
下塗り							
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5 ～8.0mm 圧力:0.39 ～ 0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分*	水道水	0～3	万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29 ～ 0.49MPa
模様付け	金ゴテでランダムなコテすじ模様をつけるようにパターン付けを行ってください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

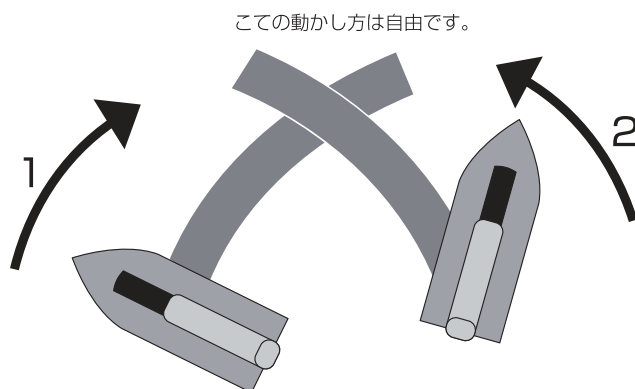
■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠れいするように塗付してください。

■模様付けについて

- 主材塗付後直ちに、水に濡らしておいた金ゴテを用いて、ランダムなコテすじ模様を付けるように、パターン付けを行ってください。又、凹凸が大きい場合、水に濡らしておいたプラスチックゴテを用いて凸部を押さえて平滑にならしてください。または金ゴテで平滑にならしてください。
- 最終養生時間は、24時間以上としてください。
- 何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■パターン出し



トラバーチンローラー仕上げ



施工道具



万能ガン



模様ローラー



金ゴテ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法
下地調整 下塗り	共通施工仕様ご参照ください。						
主材塗り (下吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	1.20～ 1.40	3時間以上	水道水	2～4	金ゴテもしくは 万能ガン(リシンチップ推奨) 口径:6.5～8.0mm 圧力:0.39～0.59MPa
主材塗り (上吹き)	ジキトーン シェルサンド	1	2.50～ 3.00	0～10分*	水道水	0～3	金ゴテもしくは 万能ガン(タイルチップ推奨) 口径:8.0～10mm 圧力:0.29～0.49MPa
模様付け	模様ローラーを縦横に転がして、塗面を引き起こしてください。						
コテ押さえ	金ゴテで凸部を押さえて、虫食い模様を作ってください。						

※主材塗りが完了してから模様をつけるまでの時間です。なるべく速やかに模様付けを実施してください。

■主材吹きについて

■主材塗り（下吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を2～4%の範囲で加え、十分に攪拌してください。

■主材塗り（上吹きの場合）

- シェルサンド（20kg）に対して、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。
- テスト塗りを行いながら条件を決めてください。
- 塗装は万能ガンを用いて、下塗りが隠れいするように塗付してください。

■模様付けについて

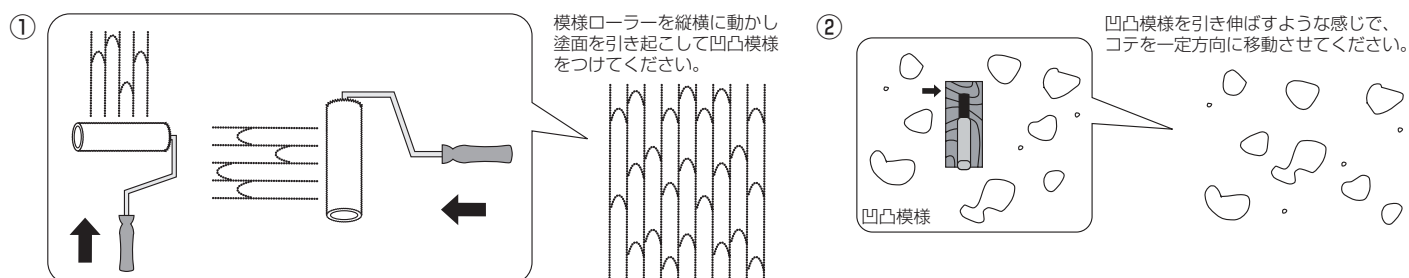
①ローラーでのパターン付け

主材塗付後直ち（5分程度内）に、模様ローラーを用いて、縦や横にローラーを移動させながら被塗物についている主材表面を引き起こして凹凸模様のパターン付けを行ってください。追いかけて施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行くと良いでしょう。パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（1m程度）で作業してください。

②コテ押さえ

模様ローラーで模様付け後直ち（5分程度内）に、水道水を付けた角ゴテ又は丸ゴテを用いて、全体を軽く押さえるようにコテを移動させながらパターン付けを行ってください。その際、コテは適宜水洗し、塗料が付着しないように注意してください。適度な凹凸状態を保つよう、コテは、あまり強く押さえ過ぎないように注意してください。何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。最終養生時間は、24時間以上としてください。

■パターン出し



【注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
【注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

【下塗り①(水性カチオンシーラー 透明)】

- ・本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- ・劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けて下さい。
- ・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・ほかの水性塗料と混合するとゲル化することがありますので、混合したり、はけ、ローラー、エアレス装置などの共用は避けてください。
- ・容器に小分けする場合はポリ容器をお使いください。（鉄製、ブリキ製は腐食します）
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

【下塗り②(ジキトーン シェルサンド下塗材)】

- ・色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- ・開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。

【主材(ジキトーン シェルサンド)】

- ・下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調及び模様の変異を生じる可能性があります。
- ・主原料が自然の材料を使用していますので、多少の色違いは予めご了承ください。
- ・多彩塗料ですので、ロット差による多少の色相のズレは予めご了承ください。
- ・仕上がり模様は、事前に試し塗りをを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
- ・塗装直後と乾燥後では若干色が異なる場合があります。
- ・厚付け塗料であるため、夜間の気温が氷点下になるおそれがある場合、午後3時までに作業を打ち切ってください。
- ・面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行なってください。
- ・大壁への施工は、塗装むらを生じやすいので出来るだけ避けてください。
- ・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥しますと元に戻ります。
- ・乾燥した塗膜に付いた汚れは、シンナーなどでは拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ・スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- ・乾燥条件によっては塗膜に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。

【仕様全般】

- ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、やむを得ず塗装する場合は、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ・塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けるか強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H1500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装は避けてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、及び補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ・内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- © Copyright 2026 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物

検索



カタログNo.

NP-E115

TY260705H
2026年8月現在